南林間小だより

大和市南林間９－３－２
☎　２７５－３１４１

１１月号

秋晴れの気持ちの良い時期ですが、朝晩の冷え込みが厳しくなってまいりました。

先日、全国学力学習状況調査の結果が公開され、６年生には、個人の結果を渡しました。

今回の調査では、子どもたちにつけさせたい力のうち、「自分の考えを相手に正しく伝える力」を問う問題がありました。その力を発揮するためには、伝えたい相手はだれかという目的意識と、正しく伝えるための根拠（エビデンス）として、文章や図、表を正しく読み取ることが求められています。

自分の考えや思いを相手に正しく理解してもらうことは、言い換えれば、自分が相手の気持ちを正しく理解することであり、互いに相手を思いやり、尊重し合う気持ちを育んでいくことにつながっていきます。

この力は、学級・学校という集団での活動を通して習得していくものです。今回のスマイル南林スポーツ週間で、子どもたちは、「羽ばたけ～一人一人が輝き笑顔あふれる全国一の小学校～」というスローガンを掲げました。子どもたちにとって、このスローガンが実感でき、充実した毎日を送ることができるよう、学習内容に工夫を凝らしながら、今後も取り組んでまいります。

今月も、児童全員が笑顔いっぱいで、楽しく過ごす学校づくりに努めてまいります。

（校長　板坂　和明）

【１０月号でお話ししました二つのとても大切な言葉は、次の通りです。】

自分の心を素直に見つめ、相手の気持ちを大切に考える「ごめんなさい」

自分も相手も笑顔になる、幸せを交換しあえる「ありがとう」

努力の成果を存分に発揮した体育的行事「スマイル南林スポーツ週間。競技や演技を終えた時の子どもたちの満足げな表情が、とても印象的でした。

「自分でやると決めたことは、やり遂げようとしている」「友達と協力するのは楽しいと思う」という項目が、全国学力学習状況調査の質問紙調査（学習意欲や生活の諸側面等の状況把握）にありました。多くの児童が「そう思う」と回答しており、大変嬉しく思いました。一方、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」という項目では、「そう思う」と回答した児童の割合が下がりました。学校では、今回の体育的行事をはじめ、幾つかの行事を年間に意図的に配置しています。今後も、行事を通して子どもたちの自信や達成感、自己有用感などの気持ちを高められるよう努めてまいります。また、課題にどう向き合い、どう努力したかというプロセスが自分を成長させているという実感がもてるよう、日々の学習や行事を工夫し、挑戦し続ける心を育んでいきたいと思います。

今月も、自信に満ちた輝く笑顔があふれる学校を目標に、一つ一つの経験を大切にした日々を送れるよう努めてまいります。

（教頭　小林　美紀）